2021 年度　JWA フリースタイルツアー第 2 戦

全日本フリースタイルトーナメント津久井浜大会

日程：11 月 20 日(土)、21 日(日)

場所：神奈川県横須賀市津久井浜海岸

レポート：フリースタイル委員長　小林　悠馬

写真：　杉　佳子

映像：里村　哲也

逗子以来、７ヶ月ぶりの公式戦

2021 年もまだまだ猛威を奮っていた新型コロナウイルス。人々の生活は依然として今まで通りには戻っていません。4 月の逗子の大会後、感染者数はどんどん急増し、またしても緊急事態宣言が発令され、厳しい状況へとなりました。しかし、ワクチン接種も広がっていき、9 月頃から感染者数も大幅に減り、少しずつ落ち着きを取り戻しつつある現在。選手や大会関係者は、大会やイベントを行うことを心待ちにしていました。この大会が予定され、選手達は新しい生活様式の中で日々練習に取り組み、成果を見せる絶好の機会を得る事ができました。そして、日本ウインドサーフィン協会としても、感染対策を万全に行った上で、このような状況下でもウインドサーフィンというスポーツの良さをアピールすることにつながるイベントを開催するということは、非常に重要となりました。昨年同様、ライブ配信を行い、会場に来ることが出来なくてもフリースタイルという迫力ある演技の観戦を楽しんでいただき、より多くの方にフリースタイルの魅力を知っていただく機会になるとともに、選手にとってもたくさんの方に応援していただけるというモチベーションに繋がりました。そして、このような状況で、大会の開催を後押ししてくださった、京浜急行電鉄株式会社様、横須賀市様に感謝しております。

今大会、プロクラス 7 名、スペシャルクラス 3 名、オープン A クラス 4 名、オープン B クラス 5 名、ウィメンズクラス 4 名、ノンプレスペシャルクラス 6 名、ノンプレオープンクラス 9 名、ノンプレビギナークラス 3 名、U－18 チャレンジクラス 5 名の参加となり、総勢 27 名の選手にご参加いただきました。

自然環境への意識

津久井浜という場所は、この素晴らしい海と風、海の中にはたくさんの魚など、様々な資源の宝庫となっています。ウインドサーフィンという自然の中で楽しむスポーツは、まさに自然を肌で感じることのできるスポーツだからこそ、現在地球が置かれている環境問題等にも敏感に気がつきます。例えば、ビーチや海中のゴミ問題です。浜を歩けば、プラスチックのゴミが所々にあり、ウインドをしていると、海に漂うゴミを発見することもあります。このゴミが海の資源に与える悪影響は計り知れません。今大会では京浜急行電鉄株式会社様主催のビーチクリーン活動を行い、大会関係者全員で会場のビーチクリーンを行いました。この活動を通して、多くの方々に現在の地球が置かれている状況について知ってもらいたいという気持ちからこの活動が企画され、少しでもこの地域の豊富な資源を守りたいという気持ちを持ち、活動を行なっております。

10 代女子が集結したウィメンズクラス

今大会ウィメンズクラスに 4 名の選手がエントリーしました。以前からノンプレのクラスに出場していた、山田美結選手、山田美依選手、柳澤瑚々選手、秋田ふみ選手の 4 名の選手が、ついにプレーニングクラスへと挑戦です。ウィメンズクラスのジャッジングはジャンプトリックと、カービングトリックやクルクルのトータルインプレッションによって採点されます。今大会のウィメンズクラスは全員が小学生という戦いの中、小さな身体で一生懸命パンピングを行い 4 名全員が開始早々プレーニングして技にトライ。選手たちは風が抜けて走っていな時も、セイル 360 やダックジャイブなど演技を続け、ジャッジにアピールしていました。山田美依選手はジャッジ前でのジャイブなどで猛アピールに対し、秋田選手はダックジャイブで応戦、結果は僅差ではありましたが、秋田選手が勝利し 3 位となりました。柳澤選手もジャッジ前で、安定して完成度の高いジャイブ等でアピールしている中、山田美結選手はスイッチスタンスヘリタックや、クリューファーストヘリタックなど、バリエーションも豊富にトリックをメイクして勝利し、山田美結選手が 1 位、柳澤選手が 2 位という結果となりました。

1 位　山田美結選手選手

2 位　柳澤選手

3 位　秋田選手　4 位　山田美依選手

不安定な風の中でも魅せる演技をするオープンＢクラス

今大会のオープンＢクラスに初参加の野口選手は、ベテランの松本選手や上田選手に堂々とした試合運びで、ジャッジ前でのバルカンメイクなど、観客を魅了する演技を行い、見事３位入賞を飾りました。ファイナルでは兄弟対決となりました。風の弱さに苦労しながらも、しっかりと風のチャンスを生かし、トリックにトライする兄、小西麻文選手に対し、体格を生かして、少ないチャンスでも全てをものにし、果敢にトリックにトライして攻める弟の小西陽人選手は圧倒的なトライ数と技のキレで１位を獲得し、小西麻文選手は２位という結果になりました。

１位　小西陽人選手

２位　小西麻文選手

３位　野口選手

アグレッシブに攻めるオープンＡクラス

フリースタイルトリックの基本の３種類、スポック、グラビー、フラカがこのクラスに出場の目安となっています。今回４名の選手がエントリーし、常連の岡本選手と冨川選手に対して、挑戦者として杉選手と吉田選手がエントリーしました。風が入り始め、岡本選手はスポックとフラカを狙いにいき、それに対し、冨川選手は両サイドスポックを披露しました。結果はスライドのスムースさなどから冨川選手が３位となりました。今回琵琶湖からエントリーしてくれた吉田選手の技のバリエーションが豊富で、オープンクラスなのにファネルやスイッチチャーチョやシャカなども披露し、リカバリー能力も非常に高く、見ている観客に、次は何を見せてくれるのかワクワクする演技をしていました。対する杉選手はスピードが速くキレのある完成度の高いフラカや、安定感のあるバルカンをしっかりメイクし、点数を稼いでいきました。一つ一つのトリックの完成度が評価され、１位は杉選手、２位に吉田選手となりました。

１位　杉選手

２位　吉田選手

３位　冨川選手

完成度の高さが際立つスペシャルクラス

今大会もフリースタイルの強者 3 名のエントリーがありました。フリースタイルの大会の常連、鶴巻選手と、プロを目指して日々練習に取り組み急成長中の若手森川選手、そして今大会、久々に出場した浮田選手の 3 名で熱い戦いを見せてくれました。

フリースタイル上級者である浮田選手は久しぶりの大会参戦にもかかわらず、安定した技術でスポックやファネル等を決め、鶴巻選手もグラビー、バルカンにトライ。若手選手である森川選手は綺麗なフラカをメイクし、弱い風の中で苦戦しながらも、パンピングを行い何度も果敢に技にトライし続けジャッジにアピールしました。

結果は確実に技をメイクした浮田選手の勝利となり、2 位森川選手、3 位鶴巻選手となりました。2 ラウンド目の試合でも、確実に技を決める浮田選手の勝利で、総合結果は 1 位浮田選手、2 位森川選手、3 位鶴巻選手となりました。

１位　浮田選手

２位　森川選手

３位　鶴巻選手

プロクラスは新しい時代の幕開けか？

今大会の中で一番風が吹く予報であった初日の午前中よりプロクラスの試合を開始しました。予想していたよりも風が弱く、ウェイティングを続ける中、わずかながらプレーニングが出来るブローが入るコンディションとなった為、プロクラスから開始されました。津野健介選手対吉田洋海選手の 1 ヒート目はキャンセルとなり、2 ヒート目の池照選手と小林の対戦から始まりました。両選手とも難しい風の中で技を繰り出し、小林はシャカやグラビー、イースライダー等をメイクします。対する池照選手もイースライダー、ワンハンドフラカ等、少しでも得点が高くなるよう自分の持っているスキルを最大限に発揮します。結果、マウイ島で練習を重ね、今大会に臨んだ池照貫吾選手がインサイドで決めたチャーチョが決め手となり、小林に勝利しました。小林が一回戦敗退で、会場の雰囲気は大きく変わり、若手の選手の勢いが増します。久々にエントリーした元チャンピオン吉田洋海選手と津野選手のヒートはどちらも一歩も譲らず、互いにトリックを繰り出し、最後まで粘り強く勝ちにこだわった津野選手が勝利しました。山本選手対佐藤選手のベテラン対決は、弱い風に苦戦する佐藤選手に対し、山本選手はフラカやファネルなどをメイクし、勝利しました。続いて、池照選手と津野選手の対戦。津野選手がシャカやイースライダーなどをしっかりメイクしてポイントを稼いでいる中、池照選手は得意のチャーチョを失敗してしまって、リズムが狂ってしまい、なんとか技を揃えるも、決め手がなく、津野選手の勝利となりました。続いては浜名湖をホームとする山本選手と守屋選手の先輩後輩対決。次々と高難易度のトリックをメイクする守屋選手に対し、山本選手も難しいトリックを狙っていきますが、守屋選手の勢いを止めることはできず、守屋選手の勝利。順位決定戦では池照選手と山本選手の対戦。池照選手は両サイド安定してスイッチ系のトリックをメイクし、山本選手のトリックに足して、難易度で上回った池照選手の勝利となりました。シングルのファイナルは守屋選手対津野選手の対戦。津野選手はダブルフラカなどのトリックをメイクするのに対し、風の弱さを物ともせず、クロやシャカ 360 など、高難易度トリックを次々とメイクする守屋選手が勝利しました。プロのダブルイリミネーションは小林が吉田選手、佐藤選手、山本選手に勝利しましたが、ここで風が弱まってしまい、プロのヒートは終了いたしました。結果、１位は守屋選手、２位津野選手、３位池照選手となり、表彰台を飾る選手の世代が変わりました。

１位　守屋選手

２位　津野選手

３位　池照選手

U－18 フリースタイルチャレンジクラス

フリースタイルにトライする若手を増やしたいという気持ちで始まった U－18 チャレンジクラス。今大会は 5 名の選手が参加しました。２ラウンドヒートを行いその総合結果で順位をつけています。U-18 で活躍を見せたのは、堺選手が果敢に難しいトリックにトライしながらアピールを続け、メイクした時の見栄えは派手でそのポイントが今回３位という結果につながりました。そして秋田選手はトリックのメイク率が高く、バリエーションも豊富です。対する山田美結選手はメイク率が高く、その上でセイルローテーションのキレがあり、トリックの綺麗さがあります。その結果、１位山田美結選手、２位が秋田選手となりました。

１位　山田美結選手

２位　秋田ふみ選手

３位　堺希海選手

ノンプレビギナークラス

ノンプレビギナークラスには少々ハードな不安定なコンディション。時折強いブローが吹き、セイルコントロールが難しい中でも、選手達は素晴らしい演技を見せました。堺選手は安定しない風に苦戦しながらも、ヘリタックやチャーチョスローでアピールを続け３位となりました。山田美依選手はバリエーションが豊富で様々なトリックに挑戦し、見ている観客を楽しませ、２位という結果となりました。柳澤選手は、なんといっても完成度が高く、難しいコンディションの中でヘリタック等のトリックを何度もしっかりとメイクしジャッジの評価が高く１位という結果となりました。

１位　柳澤瑚々選手

２位　山田美依選手

３位　堺希海選手

ノンプレオープンクラス

ノンプレオープンクラスは大会数を重ねるごとにレベルアップしています。中でも逗子と津久井浜の大会には必ずご夫婦でエントリーし、風が強くても弱くても必ず練習を欠かさない森久敏選手は、トリック一つ一つに磨きをかけ、チャーチョスローやヘリタック等のトリックの完成度が高く、３位となりました。またラウンド２で巻き返しを図った秋田選手と安定してファイナルへと進む山田美結選手がラウンド 2 のファイナリストとなりました。2 人の選手は共に様々なトリックを繰り出し、接戦でした。しかし、山田美結選手は豊富なバリエーションのトリックを高い完成度で次々とメイクし、ジャッジの評価が高く、１位山田美結選手、２位秋田選手となりました。

１位山田美結選手

２位　秋田選手

３位　森久敏選手

新たな時代と進化したノンプレスペシャル

もはや世界レベルの微風フリースタイルを見ることができると言っても過言ではありません。ノンプレスペシャルクラスの演技はバリエーション、トリックの難易度、完成度、全てにおいて会場を盛り上げるレベルとなっています。特に 10 代の選手のレベルが非常に高まっている中で、小林もなんとか食らいついていき、できる限りのトリックを披露して３位入賞しました。そして最近強風でも美風でもメキメキ上達している、小西陽人選手は不安定な風の中でも素晴らしいバランス力で風の弱い中でもゲコなどの弱い風では難しいトリックをメイクし２位となりました。そして、１人飛び抜けたレベルだったのは守屋拓海選手。全ての観客を惹きつける完成度の高さと、次は何をするのかとワクワクさせる豊富なバリエーションで会場を魅了しました。結果は圧倒的な勝利で１位となりました。

１位　守屋選手

２位　小西陽人選手

３位　小林

大会の締めくくりはトーインセッション

今大会最後にファイン楽谷店長にジェットスキーのドライバーをしてもらい、プロ選手によるトーインフリースタイルセッションを行いました。3回のチャンスの中で大幅にレベルアップした山本選手のエアーファネルが会場を盛り上げ3位に輝きました。そして、高さのあるバーナーを完着し見ている観客を魅了した守屋選手が2位となりました。そして、優勝を飾ったのは、1回目にダブルファネルをビーチギリギリでメイクした小林となりました。プロヒートでは負けてしまいましたが、トーインセッションでは良いパフォーマンスができてよかったです。

1位　小林

2位　守屋選手

3位　山本選手

ジェットドライバー　ファイン楽谷店長

表彰

ノンプレ U—18 フリースタイルチャレンジクラス

１位　山田美結選手

２位　秋田ふみ選手

３位　堺希海選手

ノンプレビギナークラス

１位　柳澤 瑚々選手

２位　山田美依選手

３位　堺希海選手

ノンプレオープンクラス

１位　山田美結選手

２位　秋田選手

３位　森久敏選手

ノンプレスペシャルクラス

1位　守屋選手

2位　小西陽人選手

3位　小林悠馬

オープンBクラス

1位　小西陽人選手

2位　小西麻文選手

3位　野口選手

オープンAクラス

1位　杉僚真選手

2位　吉田朔大選手

3位　冨川選手

スペシャルクラス

1位　浮田選手

2位　森川選手

3位　鶴巻選手

プロクラス

1位　守屋選手

2位　津野選手

3位　池照選手

トーインフリースタイルセッション

1位　小林

2位　守屋選手

3位　山本選手

主催
特定非営利活動法人日本ウインドサーフィン協会（JWA）

御協賛各社

京浜急行電鉄株式会社　／　カシュカシュ洋菓子店　／　株式会社ウインドサーフィンジャパン　／　スターボードジャパン株式会社　／　MANEUVERLINE.inc ／　株式会社 ON'S COMPANY ／　有限会社エオ　／　オニール

地元協力
横須賀市　／　北下浦観光協会　／　NPO 法人津久井浜マリンスポーツ連盟　／　ティアーズ　／　ショアライン　／　シャロウリーフ　／　スズヒロマリーン　／　横須賀パドルクラブ　／　ファイン　／　エスライド

メディア
大会の写真　11 月 20 日
URL
https://photos.google.com/share/AF1QipPdGKY98AuPVwr-cXrXq-6c-SQdbS_0ekZKISxo0pkXOMwHTnwcJpUWvaa0UopqcQ?key=QWg4MXNObTctWkZaR1BhRFk2dzhvVTRfOFJuVllR
大会の写真　11 月 21 日
URL
https://photos.google.com/share/AF1QipOOsxTQzM06jXyP7L39rntUHYkH6g6PlAJCL5TbJn9oJLluyswUG52WyZ83xLX2Cg?key=NXdQNjNqWkJYY0tCWmowT3ZEQWQ2aDVycWRGZjF3

映像　YouTube チャンネル［JWA FREESTYLE CHANNEL］にて公開中
大会 1 日目の映像
URL　https://www.youtube.com/watch?v=3apcRaCz774&t=19129s

大会 2 日目の映像
URL　https://www.youtube.com/watch?v=i8_4XuLmaZA&t=14737s

謝辞
京浜急行電鉄株式会社様と横須賀市様のご協力の元、本大会も開催して 3 回目となりました。ウインドサーフィンのメッカとも言える、津久井浜で行われた今大会は、地域に根強い企業様である京浜急行電鉄株式会社様の、地域に密着し、横須賀の地を盛り上げようとするお気持ち、さらにウインドサーフィンのワールドカップ開催地となるほど、この地域の特性とマッチしたこのウインドサーフィンというスポーツにご理解をいただき、多大なるサポートをしていただいております。この自然の中で楽しむスポーツだからこそ、ただの競技大会ではなく、関係者一人一人が自然環境に対する問題を意識し、環境を守る取り組みを含めて活動する団体として、今後もこの大会を作っていきたいと思っております。地域の皆様と関係者の皆様、大会の開催に対するご理解とご協力、誠に感謝いたします。

JWA フリースタイル委員会
委員長　小林悠馬